

その他の製造業－その他におけるはしご等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	高さ2.4メートルのコンテナのフロント側に脚立（5段、1.5メートル）を立てて乗り、コンテナ上端付近の外壁の曲がり直す作業をしている時、バランスを崩して脚立ごと背中側に転倒し、ヘルメットごしに地面で後頭部を強打した。	52～29	10
2	10～11	塗装小屋入口上部のH鋼のサビをケレン作業中、脚立（6尺）の足が伸びるタイプで、少し無理な姿勢でいたため、バランスを崩し、脚立が倒れ落下し、左足のかかとを骨折した。	54～29	10
3	13～14	配合飼料（油脂）貯蔵タンクの温度を上げるため、タンクに付設されている鉄製梯子を登り、12段目高さ3.5m付近で蒸気バルブを閉める作業を終え、降りている途中、誤って足を滑らせコンクリート地面に落下し、左大腿骨骨折及び左肋骨付近を骨折した。なお、ヘルメット及び安全ロープは未装着であった。	60～29	10
3	11～12	基盤梱包作業場でベニア箱にのぼり、畳んであるフルカバーを広げ、ベニア箱の四隅に合わせるため、足を脚立に掛けようとしたとき、足を踏み外して落下転倒し、後頭部を損傷した。梱包作業員は2名の共同作業だが、次に使用するベニア箱準備のためにもう1人が屋外にあるフォークリフトを取りに行き、基盤梱包場に戻ると被災者が床に転倒しているのを発見した。なお、保護具（綿保護具付帽子）は着用していた。	59～49	30
4	9～10	当工場内において、脚立（高さ160cm）に乗って塗装する製品を取ろうとしたところ、バランスを崩して転倒し、右手首を負傷した。	23～9	1
	9～	ボールミル機の中のサイト板取り替え工事のため、板をロープで吊って外に出す作		10

4	10	業中、ロープがボールミルを止めているワイヤーに引っ掛かった。それを外そうと脚立に昇り、バランスを崩して1.5m位の高さから転落して足を負傷した。	36	～ 29
6	17～ 18	約50cm高の脚立の上で钣金作業中、横を振り向いた際にバランスを崩し、背面に落下した。着地の際、左手より地面に落ち、手首を捻る様になってしまい圧迫骨折した。	55	～ 9
7	10～ 11	アパート2階、壁面かごのせエアコン室外機の修理作業中、梯子より約3m下に転落し、頭蓋骨・鎖骨を骨折し、脳挫傷、くも膜下出血を負った。	41	～ 9
9	11～ 12	畳床の製造作業中、機械の台からおりる時に（段差の高さが30cmくらい）、足をすべらせてあお向けに転倒した。転倒した時に右手を下についてけがをした。	68	～ 29
10	11～ 12	看板の取り付け作業中、補助として脚立に乗っていた際にバランスを崩して転落し、背中と後頭部を強打した。	48	～ 9
11	9～ 10	脚立の上で、成型機のドレン弁にドレンホースの取り付けが終わり、脚立から降りる時、足を滑らせて脚立の中に右足が入り、右手を捻る様にそのまま床に倒れ、右肘を打った。	25	～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html